

平成 26 年度 公益法人 地域開発研究所 事業計画

平成 26 年度の事業の主なものとしては

(1) 奨学金給付事業

新たに 5 名前後の支給者を 3 月中に決定し、平成 26 年度より 4 年間の支給を始める。また、今期実現できなかった、現役学生のみではなく社会人や一定の目的をもった活動を目指す者を対象とした奨学金の給付も、検討していく。

(2) 調査研究事業

・明治時代の^{大湊}開港についての研究に対する助成

下北地域、特にむつ市において、大湊開港は、非常に重要な歴史的事実であるにもかかわらず、これを取りまとめたものが存在しないことから、これについての研究（明治から戦後まで）に対し、支援していく。平成 26 年度は若干の支援をする予定である。

・不動産登記に係わる諸問題に対する調査・研究に対する助成

平成 25 年度の事業計画でもあげていたが、25 年度では助成対象事業とならなかった。しかし、県や市において、ようやく本件に対し協力体制を整えてきたこともあり、今年度においても事業計画としてあげ、若干の助成を行っていくこととしたい。

・テーマに沿って応募されてきた研究に対する助成

青森県に関係し、公益目的に沿ったテーマを当法人で挙げ、その研究に対して応募申請してもらい、支援していくということを実施していきたい。ホームページ等で公募する予定である。

(3) 自然保護事業

・植樹事業に対する支援

NPO 法人 G E M B U の宮脇先生の指導による植樹事業に、継続して支援してきており、学校や公共施設への植樹祭を中心として活動の支援をする。

・むつ湾海岸のごみの收拾、美化事業への支援

毎年 2 度行われているごみの除去、海岸線の美化に対して、トラック十数台分の不法投棄ごみが毎年取り除かれている。

この継続して行われている活動に対して、付近の町内会のみならず学校関係者（児童や P T A）に広がりを見せている。この活動の費用の負担

を負うことによって支援と同事業の継続性を引き続き目指す。

- ・ 県内に於ける主たる花の一つであるハマナスの集団生育と観光開発に対する支援

ハマナスの集団育成については目標として掲げている10万本の6割ほどの植栽を終えている。植樹用のハマナスの苗の育苗作業も順調に軌道に乗りはじめている。また、ハマナスの商品化については、よりよい商品の開発に向けて更なる調査、研究を開始したところである。ハマナスの集団育成、商品化についての援助、助成は、申請があれば今年度も引き続き行っていく計画である。

以上